

阪神西部(武庫川流域圏) 地域総合治水推進計画

～ 取り組みについて ～

平成30年1月23日

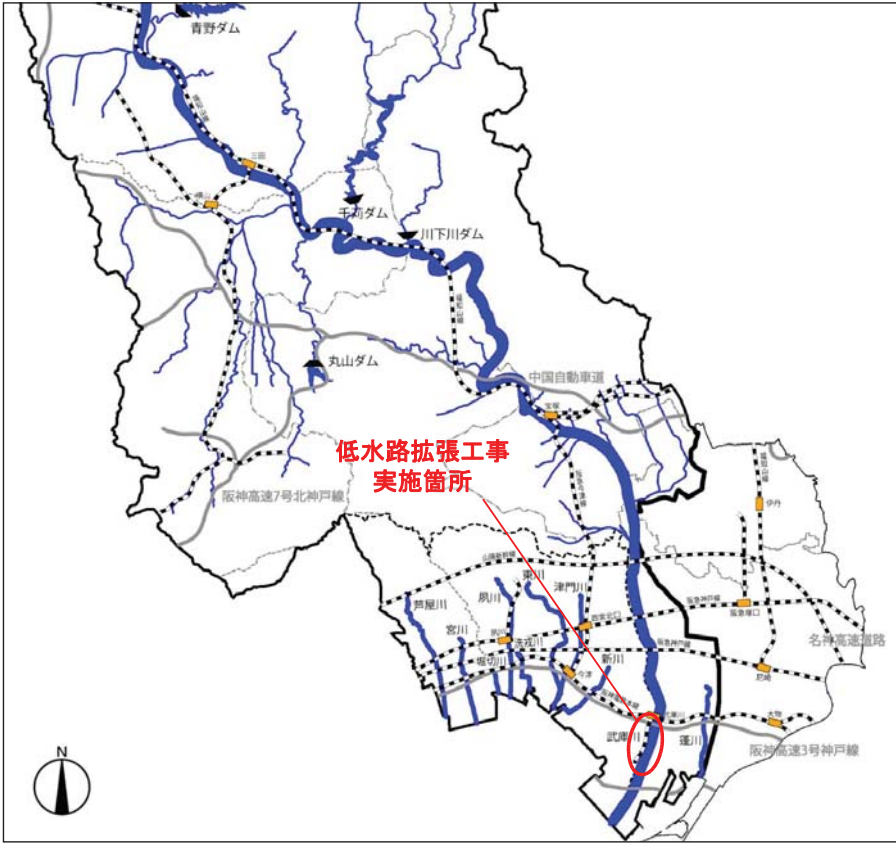
1

目 次

1. 河川下水道対策
 - 1.1 武庫川
 - 1.2 名塩川
 - 1.3 津門川
 - 1.4 西宮市下水道
2. 流域対策
3. 減災対策

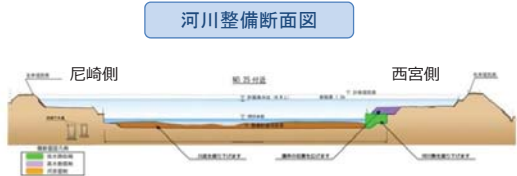
2

1.1 武庫川の取り組み



1.1 武庫川の取り組み

- 下流部築堤区間（河口～JR東海道線橋梁下流）
- ・低水路拡幅工事 右岸(西宮市側)L=350m

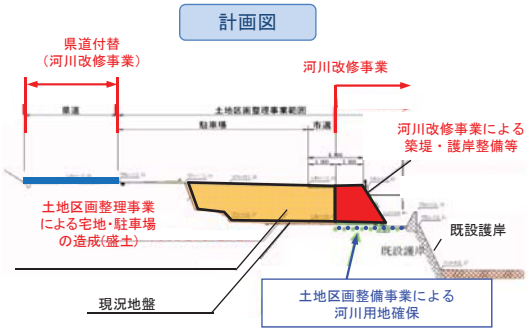


1.1 武庫川の取り組み



1.1 武庫川の取り組み

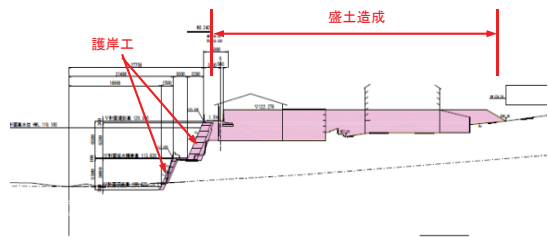
○中流部（名塩川合流点～羽束川合流点）
 ・護岸整備等
 〔住宅地区〕 L=240m 工事完了



1.1 武庫川の取り組み

- 中流部（名塩川合流点～羽東川合流点）
 - ・護岸整備等
 - 〔温泉地区〕 L=170m 工事完了

計画図

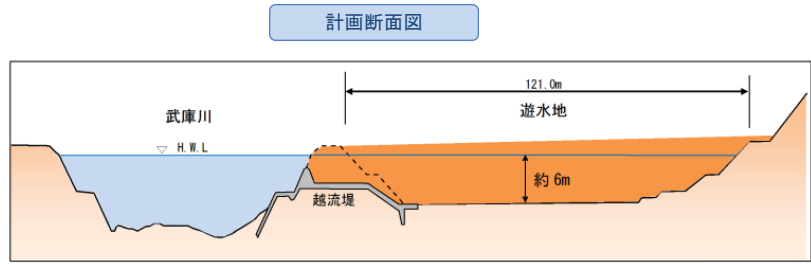


1.1 武庫川の取り組み



1.1 武庫川の取り組み

- 武庫川遊水地
 - ・掘削工事を継続実施
V=約1万m³



1.1 武庫川の取り組み

施工前



施工後

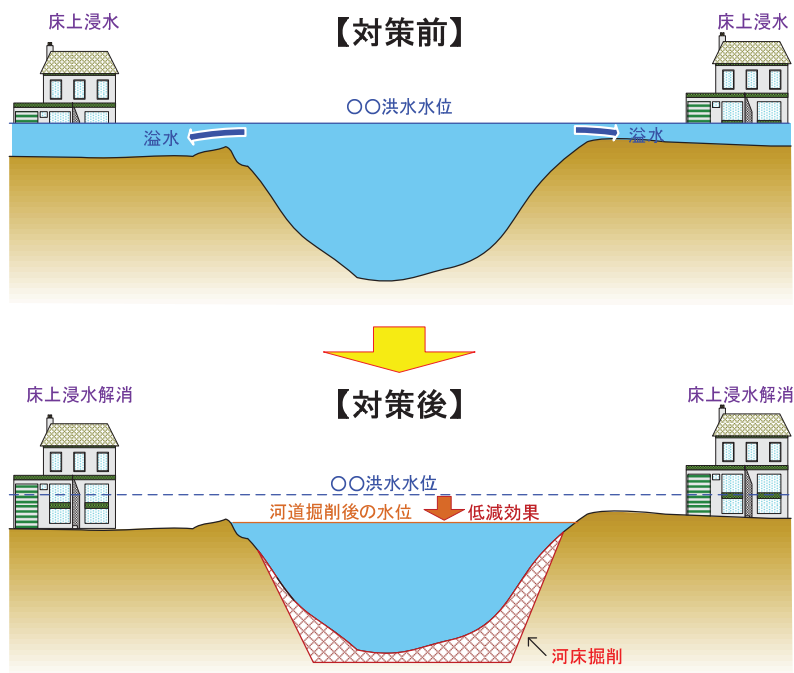


1.2 名塩川の取り組み



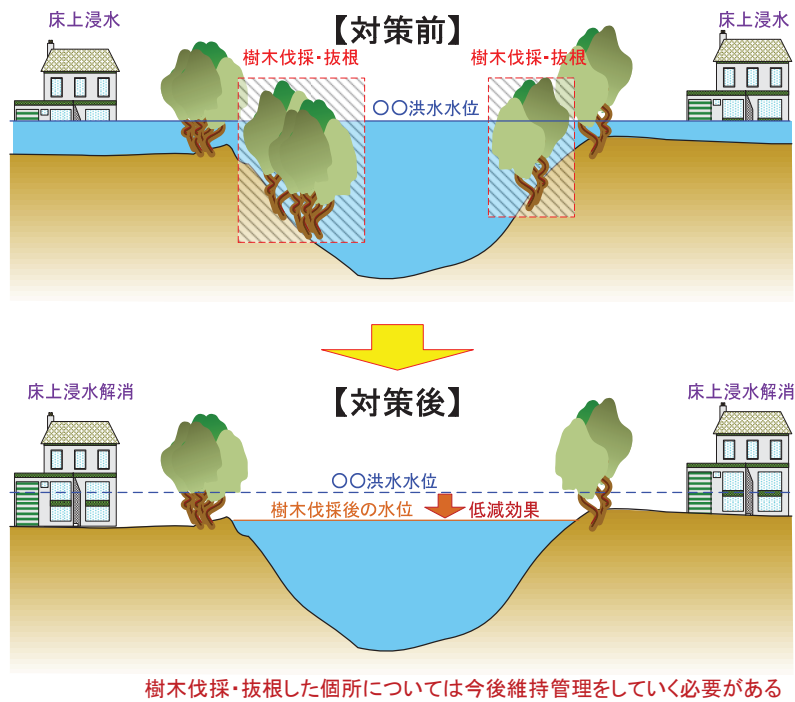
1.2 名塩川の取り組み

①河道内の掘削による流下能力向上



1.2 名塩川の取り組み

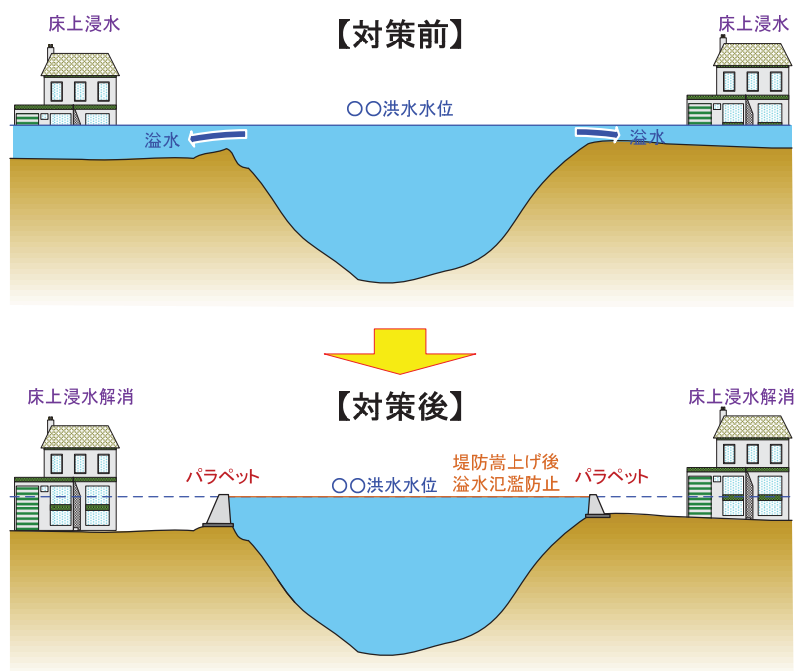
②河道内の樹木伐採による流下能力向上



13

1.2 名塩川の取り組み

③堤防の嵩上げによる溢水氾濫の防止



14

1.2 名塩川の取り組み



1.3 津門川の取り組み



1.3 津門川の取り組み

浸水時の状況

写真①

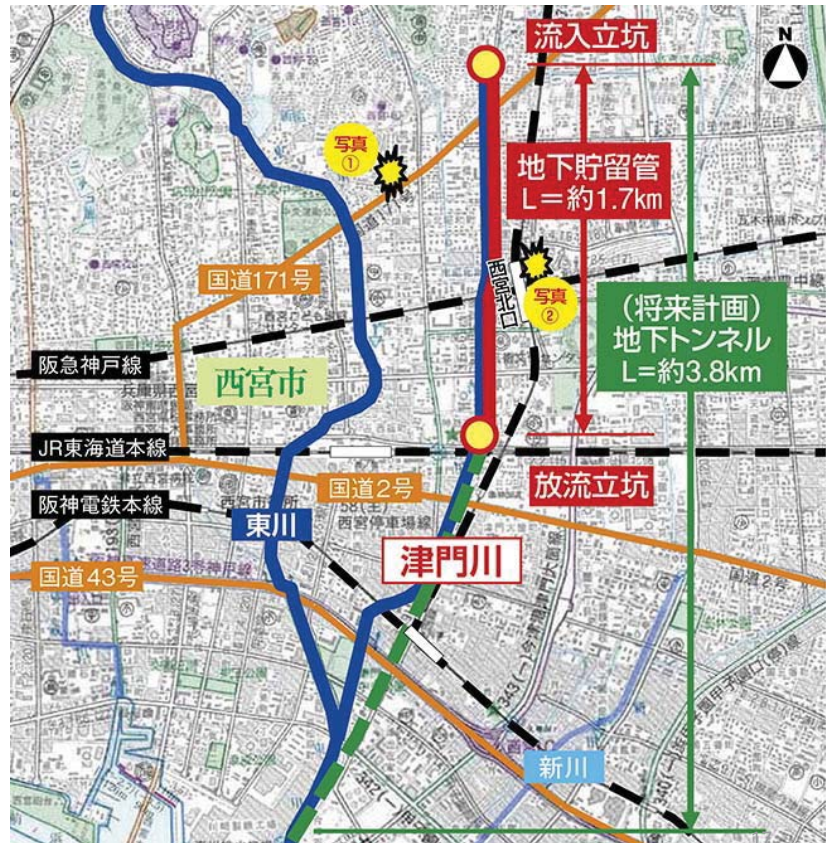


写真②



〈進捗状況〉

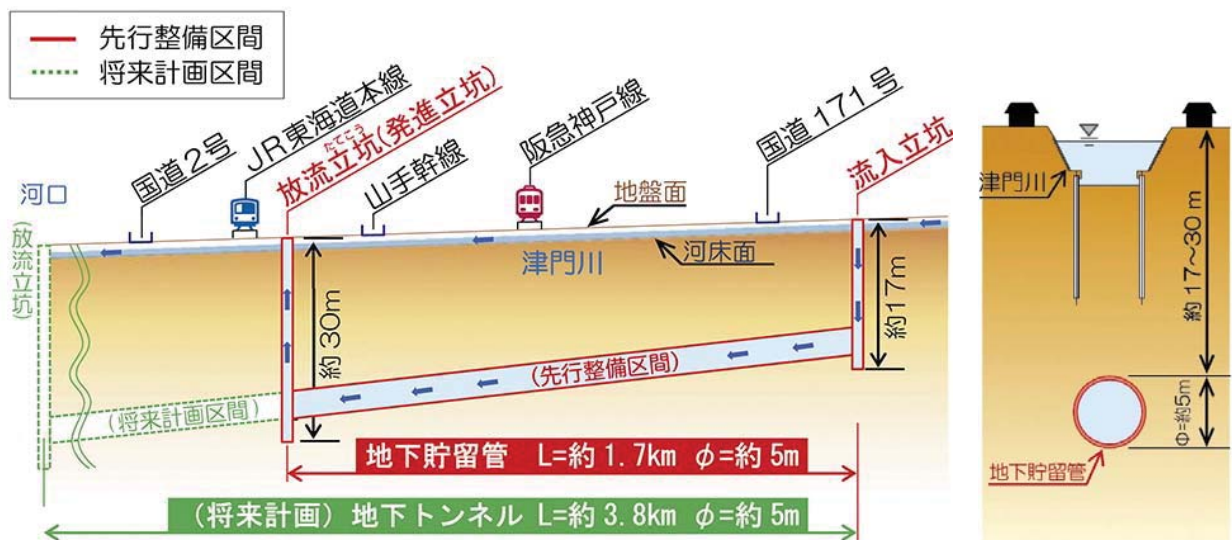
- H29年度から事業着手
- H29: 土質調査、予備設計
- H30～H31: 詳細設計(予定)
- H32～H35: 工事(予定)



1.3 津門川の取り組み

○地下貯留管の設置

地下貯留管の計画縦断面図、横断面図

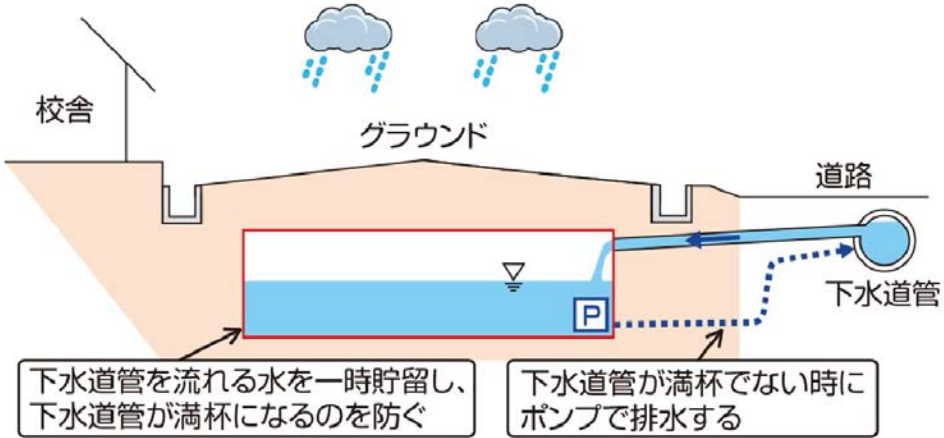


1.4 西宮市下水道の取り組み



1.4 西宮市下水道の取り組み

雨水貯留施設のイメージ図



1.4 西宮市下水道の取り組み

○二見公園雨水貯留施設(H27供用)
貯留量=1,050m³

雨水貯留施設の地表面の写真



21

1.4 西宮市下水道の取り組み

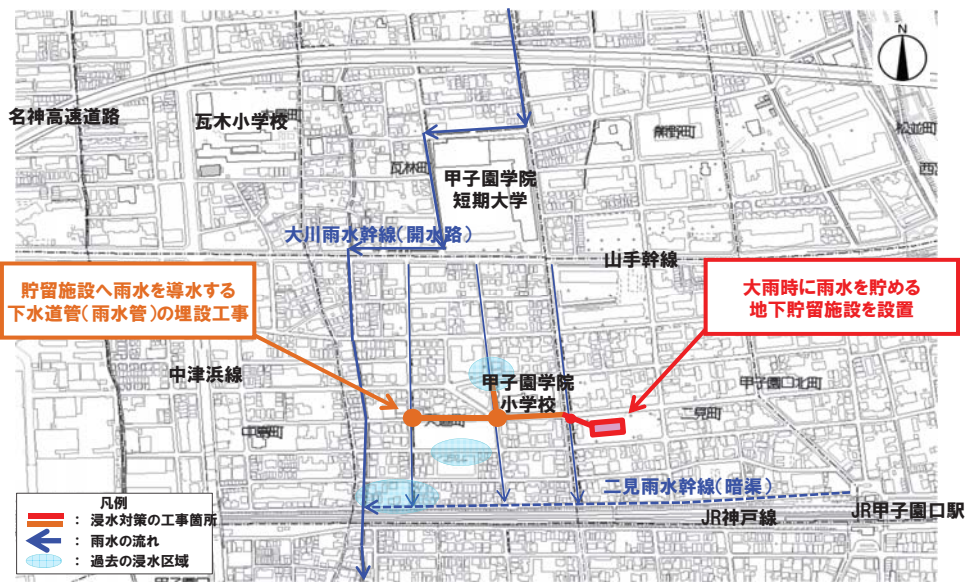
雨水貯留施設の内部の写真



22

1.4 西宮市下水道の取り組み

天道町・二見町 浸水対策図



整備中(西宮市)	
○平木町雨水貯留施設 (H30供用予定)	計画貯留量=1,000m3
○鳴尾駅前雨水貯留施設 (H31供用予定)	計画貯留量=1,050m3
○合流貯留管 (H32一部供用予定)	計画貯留量=7,600m3

2. 流域対策



2. 流域対策

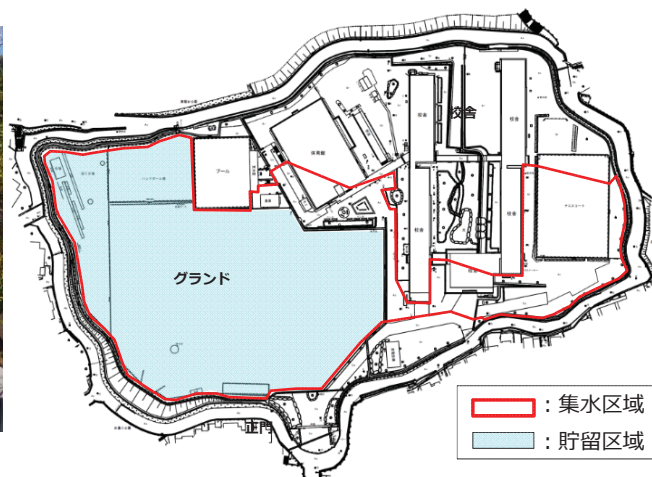
○学校、公園、ため池等を利用した貯留施設等の整備

- ・県立神戸北高校の校庭貯留
貯留量：約2,600m³

整備状況



平面図



25

3. 減災対策

○総合治水の取り組みを楽しく学んでもらうために、実験を加えた出前講座を実施。

日時：平成29年8月9日（水） 10:00~11:30
場所：阪神北県民局 第3会議室
対象者：27名（宝塚中学校 科学部員及びび先生）

出前講座の内容

- 1.総合治水について
- 2.ながす対策
- 3.ためる対策
- 4.そなえる対策
- 5.ためる対策に関する実験

1 総合治水について

では、さきほど強調しましたが
「総合治水」の「総合」とは？

↓

これまで行っていた、降った雨を「流す」
ことに加えて、降った雨を「貯める」、災害に
「備える」ことを組み合わせること

2 ながす対策

鼓が滝工区(緑橋)開削工事

河川名: 緑長川
場所名: 川西市鼓が滝
内容: 開削工事 (L=150m)

3 ためる対策(流域対策)

2校庭貯留(県立宝塚東高校)

ゲラウンド・テニスコートに開削小堤を設置し、雨水を一時的に貯留

平常時 大雨時

4 そなえる対策(減災対策)

■まずは災害の事を知ろう

「そなえる」対策の中で、一番身近なものは、災害の事を「知る」こととなります。

①住んでいる地域のリスクを知る
⇒自分の家が、水に浸かるのかわかるか
知っていますか？

②避難するときの注意点を知る

③リアルタイムの情報を知る

実験について

■実験のポイント②

- ・水が流れる量は、一定ではありません。
- ・水が多く貯まっているときは、より多くの水が流れますが、水の量が減ると、流れる水の量も減ります。
- ・なので、まずは穴の大きさと、たまっている水の量、流れる水の量の関係をしらべましょう。 ⇒グラフにしよう

26

3. 減災対策

出前講座の風景

